

祈りをこめ、心を寄せて、明日を信じる

—震災ボランティアの女性たち—



ルーテル支援センター「となりびと」(仙台教会内)に全国から送られた雑巾、16000枚

石巻北上吉浜ディケアセンター「はまぎく」で、草取り作業です。津波はこの駐車場までできました。職員さんの車が全部流されたそうです。



全国の方々から寄せられたメッセージカード。全国から寄せられたおすそ分けの品と一緒に渡しています。



小学校以来の雑巾の汽車拭き。腰が痛かったです。床清掃の作業が終わって記念写真。

第1回ボランティアバスパック「東松島宮戸島里浜」で、海苔工場の清掃作業をしました。ヘドロがあがった床の清掃。

※ボランティアバスパック…被災した方を応援する、復旧作業と交わりの2泊3日応援ツアー



※「すみちゃんの家」…高齢者の方のグループホーム。震災後、ルーテル支援センターが、泥出しや片づけなどの手伝いをしている。

第2回ボランティアバスパック(牡鹿半島鮎川地区)に参加した女性会会員。仮設住宅にプランターの花を届けました。被災者の方々も作業を手伝っていただきました。

「すみちゃんの家」(東松島市)津波に流された食器洗い作業。重油など付着物が多く、一枚一枚を手洗いました。一度洗っただけではきれいにならず、すべての食器を洗い終わるのに1ヶ月以上かかり、延べ人数も100名を超えました。



ボランティア活動で輝く女性会員



東京老人ホームで洗濯物をたたむ大森はつ子姉と原尤子姉(武蔵野)

「いろはグループホーム」で傾聴ボランティアをする小林茂子姉(大牟田)



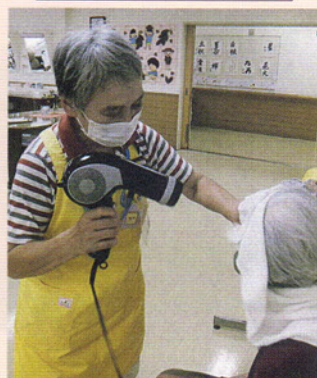
小学生に絵本の読み聞かせをし、多くの孫からエネルギーをもらう山本幸子姉(神戸)

信徒大会で福祉村のために物品を販売
左端が稲垣八重子姉(高蔵寺)



山谷のホームレスの方々に炊き出しを行っている「ほしくずの家」の台所で働く 牟田青子姉(大岡山)

東京老人ホームで入浴介助をする松田敏子姉(板橋)



小学校で絵本を読んだり話を語って、子どもたちと話の世界を旅する広瀬美由紀姉(宮崎)



子どもが入院中の家族の宿泊施設でボランティアをする3人(札幌礼拝堂)